

助産学科 第10期生 ～分娩介助技術試験を終えて～



第10期生学生13名は、令和2年6月8日に分娩介助の技術試験を終えました。私たちは、入学直後から分娩介助技術の修得のため、早朝や放課後を利用し学生同士で練習に取り組んできました。母子の安全な出産のためには、自身が行うすべての行動に根拠を持ち、清潔操作の徹底をはじめ、分娩進行状態を的確に把握し産婦へ説明することが必要です。試験を終え、その力の不足を実感し、自身の課題が明確になりました。また、緊張感や切迫感から、産婦さんを不安にさせてしまわないよう、残り2週間、明確になった課題と向き合い勉強・練習していきたいと思えます。

助産学科第10期生一同